

五戸移転後の野辺地西高

校名は「ひばり野西高」

学校法人光星学院（八戸市）は29日、八戸学院野辺地西高校（野辺地町）が県立五戸高校跡地（五戸町）に移転する2027年4月以降の校名を「八戸学院ひばり野西高校」と発表した。サッカーの町五戸を象徴するひばり野地区の地名と、現在の略称「野西」を重ね合わせた。

野辺地西高校はサッカー強豪校。五戸町のひばり野公園は1977年あすなろ国体のサッカー会場だったほか、Jリーグ3部のヴァ

ンラーレ八戸がJFL時代にホームグラウンドの一つとしていた。

五戸町役場で会見した法
官新一理事長は「野西の伝
統を五戸で積み重ねていこ
うという思いが込められて
いる」と説明。新校名を「野
西の伝統も乗せ、ヒバリが
五戸の地で天高く舞い上が
るイメージ」と表現した。

校名案は、法人や系列高
校の教職員、五戸町職員ら
同法人「移転・開設準備室」
の委員12人が35案を持ち寄
り、投票で13案に絞り込ん

でいた。この中から今月、
法管理理事長と五戸町の若宮
佳一町長が協議し「ひばり
野西」に選んだ。

会見に同席した若宮町長
は「町民の期待が詰まった
学校。応援、支援を考えて
いきたい」と述べた。

法人は、校歌と校章を五
戸町出身の姉妹クリエイタ
ー「東京ハイジ」の2人に
依頼することも発表した。

五戸高校は2022年3
月に閉校。五戸町は24年、
野辺地西高校の存続の在り
方を検討していた光星学院
側に五戸町移転を打診し、
合意していた。五戸町の校
舎には、今年入学した1年
生が3年次から通う。

（中川博志）



野辺地西高校が五戸高校跡
地に移転する際の校名を発
表する光星学院の法管理事
長（左）と五戸町の若宮町長